

弔事対応覚書

会員等の弔事連絡がもたらされた場合の対応を記す

(会誌への訃報記事)

1. 会長・副会長経験者、名誉会員については、会誌冒頭(英文目次対向 1 ページ、写真、追悼文)とする。

最近例 権藤卓也さんを偲ぶ(山崎) 2017-10 元会長、名誉会員

中村重男さんを偲ぶ(戸塚) 2018-04 元副会長、名誉会員

2. 会員(正会員、準会員、永年会員)、事務局員(事務局長含む)については、協会だより欄の「会員異動状況」の中で通知する。協会に連絡のあった場合のみ掲載。

最近例として、2018年8月号「協会だより」欄に、「追悼 山本達夫さん」(1p.)があるが、今後は、下記サンプルに統一したい。(所属、業績等入れず)。

訃報

山田 一郎氏

正会員 2019年〇月〇日逝去。享年〇。

(葬儀関連)

3. 香典、葬儀参列、弔電については、必要により会長、副会長、専務理事で検討する。

最近例

- ・2018年 協会税理士死去に伴う葬儀参列(長田副会長)、香典(10,000円)、弔電(3,000円)
- ・2018年 サンメディア・馬淵氏へ弔電

附則

1. 本覚書は2019年3月26日理事会において承認された。